

JIS X 25010 規格改訂情報	2026-2027 年度版 ALL IN ONE パーフェクトマスター プロジェクトマネージャ
-----------------------	--

12053

本書の P93・94 に掲載した「**品質特性 (JIS X 25010)**」の項目全体につきまして、下記に差替えてご利用くださいますよう、お願いいたします。

■品質特性 (JIS X 25010)

2025年12月22日に JIS X 25010 が改訂され、製品品質モデルと利用時品質モデルが次の二つの JIS に分かれて制定された。

- ・ **JIS X 25010**(システム及びソフトウェア技術—システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価 (S Q u a R E) —製品品質モデル)
- ・ **JIS X 25019**(システム及びソフトウェア技術—システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価 (S Q u a R E) —利用時品質モデル)

▶JIS X 25010:製品品質モデル

特性	定義	副特性
機能適合性	明示された状況下で使用するとき、意図した利用者の明示的ニーズ及び暗黙のニーズを満足させる機能を提供する製品の能力	機能完全性, 機能正確性, 機能適切性
性能効率性	明示された状況下で、指定された時間及び指定されたスループット(処理量)設定値内で機能を実行し、資源を効率的に使用する製品の能力	時間効率性, 資源効率性, 容量満足性
互換性	同一の共通の環境及び資源を共有する間、他の製品と情報を交換する、及び/又はその要求された機能を実行する製品の能力	共存性, 相互運用性
インタラクション容易性, 対話性	明示された利用者が、意図した作業を完了するために、ユーザインターフェースを介して利用者とシステムとの間で情報を交換してインタラクションを容易にする 製品の能力	適切度認識性, 習得性, 運用操作性, ユーザエラー防止性, ユーザエンゲージメント(利用者関与性), インクルーシビティ(包摂性), ユーザ支援性, 自己記述性
信頼性	明示された期間、明示された状況下で、中断及び故障なしに明示された機能を実行する製品の能力	無障害性, 可用性(アベイラビリティ), 障害許容性(耐故障性), 回復性
セキュリティ	人間又は他の製品が認められた権限の種類及び水準に応じたデータアクセスの度合いをもつように、情報及びデータを保護し、悪意のある者による攻撃パターンを防御する製品の能力	機密性, インテグリティ, 否認防止性, 責任追跡性, 真正性, 耐攻撃性
保守性	意図した保守者によって、効果的かつ効率的に製品が修正される製品の能力	モジュール性, 再利用性, 解析性, 修正性, テスト可能性(試験性)
柔軟性	要求事項、利用状況又はシステム環境に関する変更に対して適応される製品の能力	適応性, 拡張性, インストール性(設置性), 置換性
安全性	定義された状況下で、人の生命、健康、財産又は環境が危険にさらされる状態を避ける製品の能力	運用制約性, リスク識別性, フェールセーフ, 危険警告性, 統合時安全性

▶JIS X 25019 : 利用時品質モデル

特性	定義	副特性
便益性	製品、システム又はサービスの利用によるメリットの程度	ユーザビリティ、アクセシビリティ、適合性
リスク回避性	製品又はシステムが、経済状況、人間の生命及び生活、健康、社会、財務的価値、企業活動又は環境への潜在的なリスクを軽減する程度	経済リスク回避性、環境及び社会リスク回避性、健康リスク回避性、人間生命及び生活リスク回避性
受容性	頻繁に使用される機能を実行するように設計された製品、システム又はサービスソフトウェアツールを受け入れる又は導入するときに、人間の反応の好ましさの程度	経験保有性、トラストワージネス、遵守性

以上